会 議 録

会議の名称	平成 27 年度第 3 回 大平地域会議
開催日時	平成27年7月23日(木) 午後6時30分 開会 午後9時16分 閉会
開催場所	大平総合支所別館 3 階 大会議室
出席者氏名	赤澤 美智子 伊藤 宏幸 大類 昭子 熊倉 匡志 黒田 愛美子
	小林 明彦 佐山 幸子 清藤 良人 関根 淑子 高際 悦子 富山 勝也
	平井 良三 藤﨑 英治 藤原 美恵子 山田 義久
欠席者氏名	中島 豊和 稗田 真純
事務局職員職氏	元名 大平総合支所長 小林 敏恭
	大平地域まちづくりセンター所長(地域まちづくり課長) 茂呂 浩司
	同 副主幹 金子 好宏
	同 主査 戸田 良訓
	同 主査 高橋 綾子
	同 主任 田中 佳代
その他出席者等	なし なし
会議事項	1. 地域予算提案制度取扱事業の検討について
会議の公開又に	· 人間
非公開の別	
傍聴人の数	0名
その他必要事項	
	会議の経過
発言者	議題・発言内容・決定事項
●事務局	1. 開 会
◆会長	2. あいさつ
	3. 協議事項
	・地域予算提案制度取扱事業の検討について
	各委員より提案のあった事業提案の事業化について検討した。
●事務局	・提案事業については、「1.事業化検討」「2.対象外事業」「3.継続協議」「4.
	意見書として提出」のいずれかに取りまとめる。
◆会長	No.1 ふれあいバス停留所ベンチ設置の早期化
	→対象外事業
	No. 2 ゆうゆうプラザ・南北道路出入り部分の改善
	→意見書提出

- No.3 見守り隊と子どもたちのふれあいの集い →継続協議
- No.4 通学路も含めた道路の安全対策事業
 - ①通学路の安全確認作業
 - →対象外事業
 - ②通学路の危険物の撤去
 - →対象外事業
 - ③通学路の木々の伐採
 - →対象外事業
 - ④通学路外灯の整備
 - →対象外事業
- No.5 子ども~高齢者への交通安全対策(「スケアードストレート方式の体験」 プロのスタントマンによる交通事故の再現)
 - →事業化検討
- No.6 地域防災対策事業 (学校を使用した防災キャンプの実施)
 - →継続協議
- No.7 防災マップの作成(防災ウォーキングを行い、自分だけのマップを作る)
 - ①大平地域防災マップの作成
 - →継続協議(協議の結果によっては意見書提出)
 - ②防災ウォーキングの開催
 - →継続協議 (協議の結果によっては意見書提出)
- No. 8 地域防災対策事業
 - ①災害時の地域住民避難施設
 - →継続協議(協議の結果によっては意見書提出)
 - ②自治会・自主防災組織の避難対策について
 - →継続協議
- No.9 ウェルカムガーデンの整備
 - →継続協議
- No.10 晃石山付近のビューポイント設置
 - →事業化検討
- No.11 スポーツイベントの開催 (栃木市ゆかりのアスリートの講演会等)
 - →継続協議

《 休 憩 》

- No.12 文化・スポーツ交流事業 (40代~60代の趣味的交流の受け皿)
 - →継続協議
- No.13 伝統・文化の継承 (小中学生の伝統文化体験の実施)
 - →継続協議
- No.14 伝統・文化(自治会の太鼓等の修繕及び購入補助)
 - →継続協議(各地区にある伝統文化を継承していくという大きな目標に 向かって、実態を調査しながら意見を集約する。)
- No.15 地元資源を活用した、観光誘致のための組織
 - →継続協議
- No.16 公園における熱中症対策事業
 - →対象外事業
- No.17 健康づくり事業
 - ①公園への遊具の設置
 - →対象外事業
 - ②大平運動公園多目的運動広場の芝生の維持管理
 - →対象外事業
 - ③大平運動公園のウォーキング用距離表示版、路面標示の設置
 - →事業化検討
- No.18 永野川の遊歩道の環境整備と市民の健康づくり
 - ①磯山河川公園の維持管理
 - →意見書提出
 - ②まちなか健康ウォーキングコースの整備 (案内板、距離表示板、路面標示、パンフレット作成)
 - →継続協議
 - ③ウォーキング講座の開催
 - →継続協議
- No.19 新大平下駅西口駅前の活性化
 - ①新大平下駅西口駅前での若者向けイベント(フリーマーケット等)の開催 →対象外事業
 - ②新大平下駅西口駅前空き店舗貸付事業への補助
 - →対象外事業
 - ③新大平下駅西口駅前フリースペースの整備

- →対象外事業
- No.20 大平地域総合観光施設の充実化
 - →対象外事業
- No.2 1 栃木市観光行政の全国展開へ大平地域を発信基地に
 - ①大平地域観光 P R
 - →継続協議
 - ②認定まちづくり実働組織への支援
 - →継続協議
- No.22 世代間交流の活性化へ「大平元気シルバー交流特区」宣言(学童保育へのシニアクラブの協力)
 - →継続協議
- No.23 なし (商工業者への各種制度の説明及び普及)
 - →意見書提出

《全提案について検討終了》

- ●事務局
- ・今後の進め方について
 - No.5 スケアードストレート方式の体験(プロのスタントマンによる交通事故の再現)
 - No.10 晃石山付近のビューポイントへのテーブル、椅子等の整備
 - №.17 大平運動公園のウォーキング用距離表示板、路面標示の設置

以上、事業化検討となった事業について、概算事業額をまとめると約 297 万円となる。

所管課へ、予算の見積書と詳細な事業概要書(素案)の作成を依頼し、次 回の地域会議で示したい。

事業の提案をした委員については、後日詳細な打合せをさせていただく場合があるのでご協力願いたい。

9月開催の地域会議では、次回提出のあった予算見積りと、事業概要について最終的に取りまとめる。

4. その他

- ・栃木市子ども・子育て会議委員の推薦について 栃木市子ども・子育て会議委員・・・・佐山幸子委員を推薦
- ・「知事と語ろう!とちぎ元気フォーラム」の開催について 知事と語ろう!とちぎ元気フォーラム参加委員・・・赤澤美智子委員 大類昭子委員

《 了 承 》

- ・まちづくり懇談会ふれあいトークの開催について
- ・地方都市リノベーション事業について
- 5. 閉 会